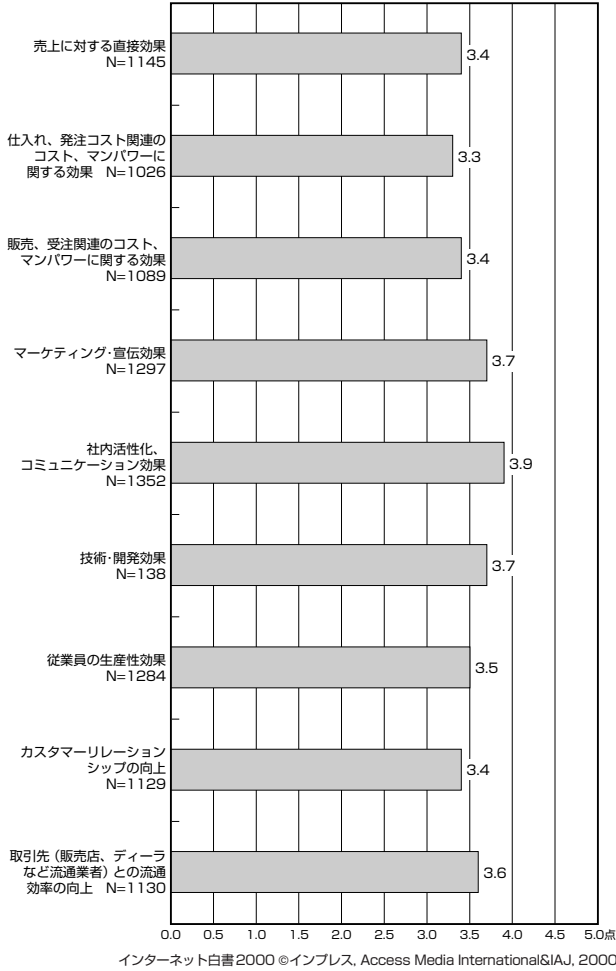
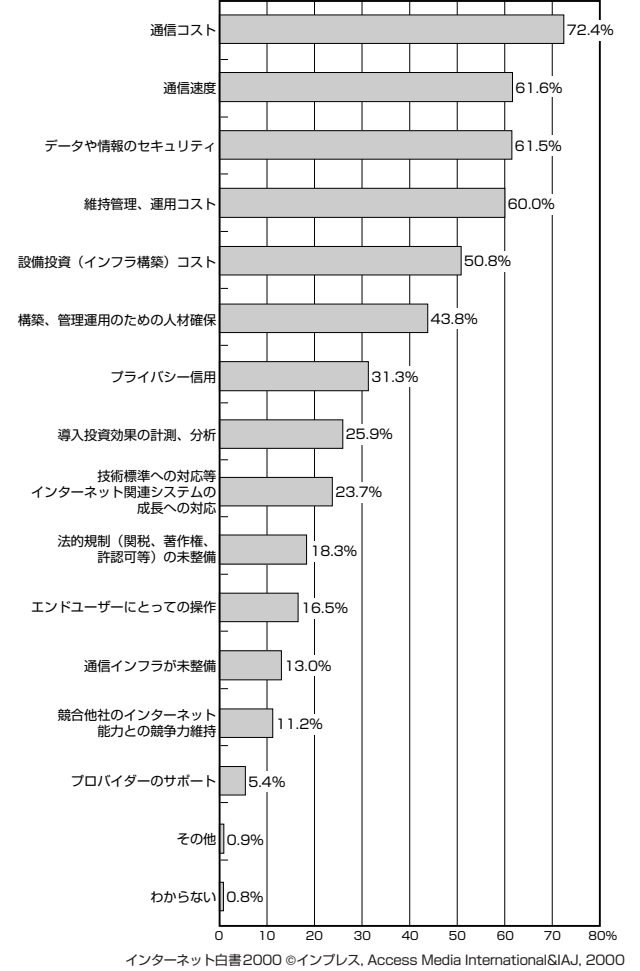


資料 1-4-41 インターネットの導入効果について項目別平均得点 (5点満点)



資料 1-4-42 インターネット、イントラネットに関する今後の課題 (N=1487)



解説

これも今回初めて掲載するデータであるが、インターネットを導入したことによって企業がどのような点に効果があったと感じているかを5点満点で評価してもらった(資料1-4-41)。それぞれの項目における回答率は「該当なし」を除外しているために異なっている。

最も平均得点が高かったのは「社内活性化、コミュニケーション効果」に対する3.9であった。これは電子メールやイントラネットが着実に企業に浸透し効果を上げていることの裏付けともいえよう。次いで「マーケティング・宣伝効果」、「技術・開発効果」(3.7)、「取引先販売店、ディーラーなど流通業者)との流通効率の向上」(3.6)などが上位となっている。いずれも直接利益の見込める分野ではないため評価基準が曖昧になりがちであるが、これらのことからインターネットが社内外のコミュニケーションやリレーションシ

ップに貢献しているという評価を得ているといえる。

インターネット、イントラネットに関する今後の課題は(資料1-4-42)、昨年同様「通信コスト」が最も高い。昨年6位に下がった「通信速度」は、再度2位に浮上しており、高速化が進んでいるにも関わらず、相変わらず関心が高い。また「データや情報のセキュリティ」も僅差で続いており、セキュリティに対する関心は昨年来引き続き高い。従業員規模別でこれら上位の課題をみると、「通信コスト」は0~9人の小規模企業で、「通信速度」や「データや情報のセキュリティ」は5000人以上の大規模企業で比率が高くなっている。これらの課題は今後企業でのインターネット利用が進むにつれて、ますます具体的な対応が必要とされると推測できる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp